

四天王寺大畠山苑

四天王寺大畠山苑では、良質なサービスを提供しご利用になられる皆様の日々の生活が楽しく健やかなものになるよう、『寄り添う支援』の提供を行います。施設における課題には職員全員が前向きな姿勢で協議・協働し、お互いを尊重する姿勢を忘れず職務を遂行していきます。

～具体的な事業活動～

(1) サービスの質の向上

ご利用者の安心・安全な生活を継続させるために施設職員は介護サービスの質を見直し、改善に努めています。

具体的には現在のサービス内容や業務シフトを見直しを行い、『寄り添う支援』を提供する介護員として、外部講師の協力のもと実現に努めます。

(2) 人財育成・研修

人事評価では役割等級毎に明記されている「具体的な行動」を指標として大畠山苑で求められている役割と個々の目標を明確にし、適切な評価を実施していきます。

施設外研修へは積極的に参加していくと共に、施設内研修では法定研修を確実に実施し研修内容を共有することで、職員のスキルアップを図ります。

(3) 地域との連携

所管である八尾市をはじめ、特別養護老人ホーム施設長会や南高安地区連絡会を通して八尾市内の状況把握を行いつつ、BCP策定に係る地域の情報を共有していきます。また施設内へは、大畠山苑の現状に即した内容で計画していきます。

(4) 施設設備の老朽化への対応

施設内の基幹設備および備品類の老朽化に伴う不具合に対して、優先順位を決めて適切な対応を行います。

そのためには稼働率を維持を目標に、安定した事業運営を行います。

～改善活動～

(1) リスクマネジメント

転倒・転落事故件数の減少を目標に、ご利用者の特性に応じたサービス提供を行います。また、高齢事業部共通様式を用いて分析を行い、事故減少に向けて効果的で効率的な集計を行っていきます。

また、感染症対策においても、クラスター予防や陽性者への迅速な対応に努めます。